

# Weekly Michael's News

## <今週の聖句>

2017年6月19日発行 No.40

『イエスは町や村を残らず回って、会堂で教え、御国の福音を宣べ伝え、ありとあらゆる病気や患いをいやされた。』  
(マタイによる福音書 9:35)

## <昼礼拝の新しい挑戦が始まる!! 「黙想礼拝」に「英語礼拝」等、新メニューが続々登場!!>

6月も早半ばを迎え、2017年度前期も後半に差し掛かって来ています。そんな中、チャペルでは昼の礼拝を中心に新しい取り組みを次々と始めています!! 先週火曜日は、「黙想礼拝」を行い、参加者の抱える様々な願いを黙想の中で分かち合いました!! また金曜日には、留学生にも参加できるようにと、「英語礼拝」(式文には和英両方を併記)を行いました!! 司会を担当した私の脇汗がヤバかったですが、様々な個性や背景を持った面々が共に集い、同じ言葉で歌い祈る…。これこそ今の時代に最も求められる平和の一つの形ではないでしょうか?



今年度初の黙想礼拝の様子



静けさの中で石原主務の唱える祈りを中心に全員が心を合わせる…



英語礼拝では聖歌も英語で



附属出身の蔭山君が英語で聖書朗読



「主の祈り」も当然英語です!!

## <新年度、聖歌隊も本格始動!! 明日のお昼、音楽礼拝での奉唱を見逃す…いや聞き逃すな!!>

上記の新しい取り組みは今週に入っても続きます!! 昨年度からクリスマス礼拝や卒業・入学式などでも歌声を披露し、好評を博してきた聖歌隊!! ついに今年度初の奉唱を、明日(6/20)の昼礼拝で行います!! 今一度、メンバー登録を新しく行い、全体練習と個人練習をコツコツと積み重ねてきた聖歌隊の皆さん。その歌声やハーモニーは、礼拝出席者の心に如何に響くのか!? 明日のお昼は、ぜひチャペルへお越しください!! 一人でも多くの出席者の心に、聖歌隊の歌声が届きますように…祈



コツコツと練習してきた成果を!!

## <先週のメッセージ>

※ここでは実際に話されたお話の要約を掲載しています

6月12日(月) テーマ:「物語を食べて育つ」

野間 光顕(チャプレン)

我が家には息子が3人おり、寝る前には好きな絵本を1冊読む事が定例となっている。読みながら、物語に自分を投影している息子の姿を見て、ある幼児教育者の言葉「人は物語を食べて育つ」を思い出した。子供達は、様々な物語に触れながら絶体絶命の危機、そして出会いや助けを経験する。それらは成長の中で人は連帯し苦境を乗り越えていけるというメッセージとなり命を支える揺るぎない土台となる。これは子供に限った話ではなく、私達大人にも当てはまる。私達の身の周りには映画や小説、ドラマなど物語が溢れている。何より、この礼拝で目を向けている「聖書」は、時代や国・文化を超えて数え切れない程の人々に力を与えてきた物語だ。毎日の礼拝で読まれる「聖書」との出会いがKIUに集う学生・教職員の心と体を豊かにする事を願う。

6月13日(火) この日は、今年度初めての「黙想礼拝」を行いました!! 私たちの心の中にある様々な思いや願い、それらを想起しながら静かに祈る…。慌ただしい日本社会の中で、心休まる一時を大切にしたいと考えています。

6月14日(水) テーマ:「こうべ・ひょうご散策のすすめ」

仲 久則(経済学部)

昨年3月まで国際センター長であった私は、留学生に日本の様々な観光スポットを紹介する機会が与えられた。神戸HATの防災センターで神戸の地震や津波被害の現実を学んだり、他のゼミとコラボして京都の嵐山でお茶を飲んだり…。またウォーキングが趣味なので、地図を見ながらぶらぶら歩く事で様々な情報にも触れる、いわゆる「こうべ・ひょうご散策」を楽しんでいる。そんな中、留学生から思わぬ情報の提供を受ける事があって驚く。地元だからよく知っている…という事はなく、むしろ様々な出会いや触れ合いによって与えられる新しい発見が、自分の世界を広げてくれる事を感じる。ここ数年間で日本を訪れる外国人観光客の数は激増している。迎える私たちも、交わされるコミュニケーションを大切にしながら異文化を分かち合いたい。

6月15日(木) テーマ:「ほんの僅かの差」

中村 浩(経済学部)

私の専門は統計学だが、そこで扱う数字は様々な事を私たちに教えてくれる。例えば「偏差値」。この数字は、主に受験において大学の学力を端的に示す数字と考えられている。しかし、ここで気をつけたいのが平均を50に合わせて、他の点数が対称になるように仮定して判断される。例えば、100点満点中、平均が10点であれば14~15点を取るだけで偏差値が70近くになる。反対に平均が90点ぐらいあると、80点を取っても偏差値は50を割ってしまう事になる。偏差値という観点で東京大学と神戸国際大学を比較すると、そこには確かに大きな開きがある。数字だけを見ると大きな差に見えるが、個々の学生に目を向ければそんなに差はない。大切なのは「どんな大学に入ったか」ではなく「そこでどう自分を磨くか」だ。統計的な数字に惑わされることなく、有意義な学生生活を実現して欲しい。

6月16日(金) この日は、今年度初めての「英語礼拝」を行いました!! KIUのキーワードである「国際」を覚えつつ、英語の式文を使用して礼拝を奉げました!! 日本人学生と留学生が共に集い、心を合わせて祈る…。そんな一時が、混沌とした世界の中に平和を作り出す一歩になると信じます。(文責:野間 光顕)